

〔五〕 学校の管理運営の現代化

天野 菊三郎 織田 長繁 中尾 正三
三橋 一夫 杉山 光男

1. はじめに

我々のグループは、「学校の管理運営の現代化」のテーマととりくむこととなった。

その場合、まず、「学校の管理」とは何か、ということが問題となる。公立高校の場合、学校管理案というのは、おおよそ次のような項目をふくんでいるのが通例である。

1. 教育目標

- (1) 本校の教育目標
- (2) 経営方針
- (3) 本年度の重点目標

2. 教育課程

- (1) 教育課程編成表
- (2) 特別教育活動指導計画
- (3) 学校行事等指導計画

3. 学校組織

- (1) 運営組織（組織図・校務分掌・各種委員会組織）
- (2) 教職員組織（職員名簿）
- (3) 生徒の編成
 - ア．ホームルームの学科別、学年別、男女別編成状況
 - イ．生徒会の組織
 - ウ．クラブ編成状況

4. 指導計画

- (1) 学習指導
- (2) 生活指導
- (3) 進路指導
- (4) 保健ならびに体育指導
- (5) 安全教育（交通安全指導を含む）
- (6) 学校図書館
- (7) 視聴覚教育

5. 現職教育

- (1) 方針
- (2) 組織
- (3) 研修課題
- (4) 実施計画

6. 施設・設備

- (1) 施設・設備の管理組織
- (2) 校地・校舎・施設・設備の整備計画
- (3) 防火・警備に関する計画

7. 父兄・卒業生との連けい

- (1) P・T・A
- (2) 同窓会

8. 学校管理上の問題点

すなわち、学校経営とは教育計画、生徒指導、進路指導、施設、運営のすべてをふくんだ概念である。しかし我々の第5グループはその意味での管理運営をとりあげたのではない。教科を中心とする教育計画については第1グループが、TMをふくむ教育方法およびそれと関連した設備施設については第2グループが、生徒指導進路指導についてもそれぞれ、第3、第4のグループがとりあげ、研究と実践をすすめている。また各教科の指導については、本紀要の各科共同研究および個人研究の部分が示すように実践研究がすすめられている。第5グループとしてわれわれがとりあげたのは、狭い意味の「管理運営」の問題である。上にあげられた教育活動のすべてを集約統合する「企画・立案」の部門としての運営の問題である。

その狭義の運営の問題のうち、校内の管理運営の中心機能を果す「運営委員会」制を中心に、学部と附属とで構成された「あり方委員会」の過程をまとめたのが報告Ⅰである。なお、その過程で問題とされた入試のあり方についての資料を〈附〉としてかかしておく。そこには、あるべき附属を求めての我々の模索がみられる。

運営という場合、PTAとの関係が問題となる。とくにその財政経理的側面を中心にまとめたのが報告Ⅱである。

その他、校内の環境整備、枝庭の緑化計画、また校内の諸内規の検討整備改訂の作業もすすめてきたが、これらはまだ緒につきはじめたという段階で、その報告は次回の「紀要」においてまとめたと思う。